

# 「フジノン 15 cm双眼鏡の新しい世界」

桑田直宏

最近は 15 cm双眼視の世界にどっぷりとハマっている。快晴の日の観望はほとんどこれを使って観望するようになった。「目で見る望遠鏡」としては、私の知る限りこれの右に出るものはないと断言できる。実は数年前まで、私はこのフジノンが見えなくなったように感じて売却してしまおうかと考えていた。考えが変わったのは、2 つの事実を行ったからである。

一つは森の宇宙船のベランダに出したままにして、いつでも見ることができるようにしたこと。

この双眼鏡の重さは半端なく、鏡筒だけで 18.5 キロもある。暗くなってから一人で組み立てるのは、筋力が衰えてきた私にとっては億劫と言うより恐怖すら感じるようになっていた。

雨風対策でカバーはかけたままにして 2 年以上になるが、錆とか動きが固くなることは一切ない。それもそのはず、フジノン 15 センチは船舶や過酷な環境で使われるように設計されているのだ。

長年使ってみてわかったことだが、25 倍でも 15 cmともなると外気の気温になじむまではピントが安定しないのだ。微妙なピント合わせが暗い星の見え方に影響してくる。外に放置しているからこそ、この双眼鏡の本当の威力が発揮できることに気が付いたのである。

二つ目は自分の目をクリアにしたこと。昨年、白内障の両目の手術をした。日常生活においても、手術後はこんなに周りが明るく、色がきれいになったことに感動しているが、夜空はそれ以上に違いがあった。

フジノンでおおぐま座の M97(フクロウ星雲)を観望した時、視野の中に入っているはずなのにどこにあるのかさえ分からないときがあった。この辺りの光害がひどくなったからだと思っていた。手術後、同じ天体を導入してびっくりした。こんなにもクリアに見えるのかということに。自分の目が「曇っていた」のだ。若いときの目を取り戻したことで、この双眼鏡で見せてくれる新しい星の世界にのめりこんでいる。



フジノン 25×150 MT(アクロマート)

## 参考 フジノンおすすめ天体

春	夏	秋	冬
M81と M82	北アメリカ星雲	二重星団	ぎやしゃ座 M36M37M38
おとめ座銀河団	網状星雲全景(フィルター付)	アンドロメダ大星雲	M46と M47
M51	スモールスタークラウド付近	NGC7293(らせん状星雲)	オリオン座大星雲
M65・M66・NGC3628	いて座スタークラウド付近	カシオペア座付近	M35 と NGC2158
NGC4631 と NGC4656	さそり座 NGC6231 付近	ガーネットスター付近	おいぬ座付近の冬の銀河
M97(ふくろう星雲)・M108	M27(あらい状星雲)	M33	M1(かに星雲)
M101(回転花火星雲)	M22	アルマク(アンドロメダ座)	NGC2362
NGC4565	M8と M20		
	アルビレオ		